

さっぽろオータムフェスト - 開催コンセプト

北海道は食が豊かでおいしいことで知られていますが、その多くは秋になると札幌の大通公園に出現します。9月中旬から3週間にわたり、島内各地のレストランや生産者が、収穫した食材を公園に持ち込んで美食の祭典を開催します。鹿肉などの野生動物、牛肉や乳製品、魚介類、果物や野菜、ビール、ワイン、日本酒など、地域の特産品が勢ぞろい。これらの多くは有機栽培で生産されており、その品質の高さは島の澄んだ水ときれいな土壌に起因しています。

祭りの雰囲気を知る上で重要な「くいだおれ」は、5丁目の「くいだおれ広場」の名前にも登場するほどの言葉です。「くいだおれ」とは、破産するほどたくさん食べるという意味で、文字通り（肉体的にも比喩的にも）、倒れるまで食べることを意味しています。つまり、多くの人にとって北海道の恵みを存分に味わうことが目的なのです。

2008年にスタートしたこのフェスティバルは、北海道の主要な季節イベントの中では最も新しいものです。現在では毎年200万人以上の来場者があります。このイベントのもともとの目的の一つは、北海道全体の活性化です。大通公園で開催されていた「大通まつり」を発展させたもので、道内各町の名物料理が一堂に会します。

また、ドイツ・ミュンヘンで開催されるビールの祭典「オクトーバーフェスト」の北海道版もあります。これは、1972年に始まった札幌とミュンヘンの姉妹都市関係を反映したものです。